【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和7年6月19日(2025.6.19)

【公開番号】特開2024-133312(P2024-133312A)
【公開日】令和6年10月1日(2024.10.1)
【年通号数】公開公報(特許)2024-183
【出願番号】特願2024-115101(P2024-115101)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/01(2006.01)
Ｂ０５Ｃ　5/00(2006.01)
Ｂ０５Ｃ 11/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　2/01　３０７
Ｂ０５Ｃ　5/00　１０１
Ｂ０５Ｃ 11/10

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月11日(2025.6.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記録材にインクを吐出する吐出口を有する吐出口面を有し、記録材の幅方向に延びるライン型の記録ヘッドと、
前記記録ヘッドで記録を行う記録位置と記録を行わない非記録位置との間で前記記録ヘッドを移動させる支持部と、
前記記録位置にある前記記録ヘッドと当接し、前記記録ヘッドを所定の角度に位置決めする位置決め部と、を備え、
前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接しない場合、前記支持部は前記吐出口面の角度の変化を規制し、前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接する場合、前記支持部は前記吐出口面の角度の変化を規制しないことを特徴とする記録装置。
【請求項２】
前記記録ヘッドは、被支持部を有し、
前記支持部は、前記被支持部と接触して前記記録ヘッドを支持するための支持面を有し、
前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接しない場合、前記支持面は前記被支持部に接触し、前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接する場合、前記支持面は前記被支持部から離間することを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項３】
前記支持部は、前記吐出口面の角度を変化させる前記記録ヘッドの移動が規制されるように、前記支持面に接触した前記被支持部に対して当接可能な規制面を有し、前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接しない場合、前記規制面が前記被支持部に当接可能で、前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接する場合、前記規制面が前記被支持部に当接しないことを特徴とする請求項２に記載の記録装置。
【請求項４】
前記被支持部は、前記記録ヘッドの移動方向と交差する方向における前記記録ヘッドの両端から前記交差する方向に突出する突起部であり、

前記支持部は、前記突起部に対して前記交差する方向に垂直な方向に対向する面を有する孔部を有し、
前記孔部の前記面は、前記支持面と前記規制面を含むことを特徴とする請求項３に記載の記録装置。
【請求項５】
前記支持部は、前記被支持部が前記支持面に接触するように前記記録ヘッドを付勢する付勢部材を有することを特徴とする請求項２に記載の記録装置。
【請求項６】
前記記録材は、ロール状に巻かれた連続シートから供給されることを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項７】
前記支持部の移動方向は、直線方向であることを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項８】
前記記録ヘッドは、第１の当接部と、前記記録ヘッドの移動方向と交差する方向において、前記第１の当接部と異なる位置に設けられる第２の当接部と、を有し、
前記位置決め部は、前記記録ヘッドが前記記録位置にあるときに前記第１の当接部に当接する第１の位置決め部と、
前記記録ヘッドが前記記録位置にあるときに前記第２の当接部に当接する第２の位置決め部と、
を含むことを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載の記録装置。
【請求項９】
前記記録位置にある前記記録ヘッドの前記吐出口面の角度が、前記記録ヘッドの移動方向における、前記第１の当接部と前記第１の位置決め部とが当接する第１の当接位置と、前記第２の当接部と前記第２の位置決め部とが当接する第２の当接位置と、の差によって決まることを特徴とする請求項８に記載の記録装置。
【請求項１０】
前記記録位置にある前記記録ヘッドの前記吐出口面の角度が、前記記録ヘッドが前記記録位置へ移動する際における、前記第１の当接部と前記第１の位置決め部とが当接する第１のタイミングと、前記第２の当接部と前記第２の位置決め部とが当接する第２のタイミングと、の差によって決まることを特徴とする請求項８に記載の記録装置。
【請求項１１】
前記第１の位置決め部と前記第２の位置決め部は、前記移動方向における位置が異なることを特徴とする請求項８に記載の記録装置。
【請求項１２】
前記第２の位置決め部は、前記移動方向において、前記記録ヘッドに対して前記第１の位置決め部よりも離れていることを特徴とする請求項１１に記載の記録装置。
【請求項１３】
前記記録ヘッドは、被支持部を有し、
前記支持部は、前記被支持部と接触して前記記録ヘッドを支持するための支持面を有し、
前記支持部は、前記被支持部が前記支持面に接触するように前記記録ヘッドを付勢する付勢部材をさらに有し、
前記付勢部材は、
前記交差する方向において前記第２の当接部よりも前記第１の当接部に近い側で前記記録ヘッドに当接して前記記録ヘッドに第１の付勢力を付与する第１の付勢部材と、
前記交差する方向において前記第１の当接部よりも前記第２の当接部に近い側で前記記録ヘッドに当接して前記記録ヘッドに第２の付勢力を付与する第２の付勢部材と、を含み、
前記第２の付勢力は、前記第１の付勢力より大きいことを特徴とする請求項１２に記載の記録装置。
【請求項１４】
前記第１の当接部と前記第１の位置決め部は、いずれか一方が凸形状を有し、他方が凹形

状を有し、
前記第２の当接部と前記第２の位置決め部は、いずれか一方が凸形状を有し、他方が凹形状を有することを特徴とする請求項８に記載の記録装置。
【請求項１５】
前記記録位置にある前記記録ヘッドの前記吐出口面と対向する位置に、記録材を搬送する搬送部を備え、
前記第１の当接部と前記第２の当接部は、記録材の搬送方向において異なる位置に設けられていることを特徴とする請求項１４に記載の記録装置。
【請求項１６】
前記吐出口面の角度は、前記搬送方向と直交する記録材の幅方向と平行な回転軸線周りに前記記録ヘッドが回転することで、変化することを特徴とする請求項１５に記載の記録装置。
【請求項１７】
前記凸形状は、半球形状であり、
前記凹形状は、前記搬送方向と直交する記録材の幅方向に延びる溝形状、又は円錐形状であることを特徴とする請求項１６に記載の記録装置。
【請求項１８】
前記第１の当接部は、前記幅方向における前記記録ヘッドの両側に対で設けられ、
前記第２の当接部は、前記幅方向における前記記録ヘッドの片側に設けられていることを特徴とする請求項１７に記載の記録装置。
【請求項１９】
前記第１の位置決め部と前記第２の位置決め部は、それぞれ前記半球形状であり、前記第２の当接部は、前記溝形状であり、
対の前記第１の当接部のうち前記幅方向において前記第２の当接部と同じ側に設けられた前記第１の当接部は、前記溝形状であり、
対の前記第１の当接部のうち前記幅方向において前記第２の当接部とは反対側に設けられた前記第１の当接部は、前記円錐形状であることを特徴とする請求項１８に記載の記録装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するため、本発明の記録装置は、
記録材にインクを吐出する吐出口を有する吐出口面を有し、記録材の幅方向に延びるライン型の記録ヘッドと、
前記記録ヘッドで記録を行う記録位置と記録を行わない非記録位置との間で前記記録ヘッドを移動させる支持部と、
前記記録位置にある前記記録ヘッドと当接し、前記記録ヘッドを所定の角度に位置決めする位置決め部と、を備え、
前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接しない場合、前記支持部は前記吐出口面の角度の変化を規制し、前記記録ヘッドと前記位置決め部が当接する場合、前記支持部は前記吐出口面の角度の変化を規制しないことを特徴とする。